

## 略 歴

にし くら たか あき  
西 倉 高 明

## 【学 歴】

- 1950年 4 月17日 兵庫県神戸市に生まれる
- 1977年 3 月 大阪市立大学経済学部卒業
- 1984年 3 月 大阪市立大学大学院経営学研究科前期博士課程修了
- 1987年 3 月 大阪市立大学大学院経営学研究科後期博士課程単位取得退学

## 【職 歴】

- 1987年 4 月 大阪市立大学商学部 助手
- 1988年10月 大阪市立大学商学部 講師
- 1992年 4 月 大阪市立大学商学部 助教授
- 1999年10月 大阪市立大学商学部 教授
- 1999年10月 博士（商学）大阪市立大学
- 2001年 4 月 大阪市立大学経営学研究科教授（組織変更のため）
- 2004年 4 月 大阪市立大学評議員（～2006年 3 月）
- 2007年 4 月 大阪市立大学経営学研究科長（商学部長兼任）（～2009年 3 月）
- 2011年 4 月 信用理論研究会事務局担当理事（～2014年 3 月）

## 【非常勤講師】

大阪経済法科大学経済学部  
桃山学院大学経済学研究科

## 業 績

## 【著 書】

1998年 6 月 『基軸通貨ドルの形成』 勁草書房

## 【部分執筆】

- 1988年 6 月 「銀行貸付投資と国際金融市場」 奥村茂次編『現代世界経済と資本輸出』 ミネルヴァ書房
- 1993年 2 月 「旧 IMF 体制と基軸通貨ドル」 深町郁爾編著『ドル本位制の研究』 日本経済評論社
- 2003年 5 月 「戦後の国際通貨体制とアメリカの覇権」 尾上修悟編著『新版国際金融論』 ミネルヴァ書房
- 2006年 2 月 「国際決済と国際通貨」 信用理論研究学会編『金融グローバリゼーションの理論』 大月書店

## 【論 文】

- 1987年 6 月 「日米間国際金融構造の特質—IMF 体制における Asymmetry の検出—」『証券経済』第 160 号
- 1988年 4 月 「アメリカの公的為替操作と IMF 体制（上）」『経営研究』第 39 巻第 1 号
- 1988年12月 「1960年代のドル防衛策の発展」『証券研究年報』（大阪市立大学証券研究センター）第 3 号
- 1991年11月 「ブレトンウッズ体制下におけるヨーロッパ域内通貨協力の展開とドル—対ドル差別とドルの排除—」『経営研究』第 42 巻第 4 号
- 1992年12月 「1950 年代のポンド—ドルの基軸通貨化との関連で—」『証券研究年報』（大阪市立大学証券研究センター）第 7 号
- 1997年11月 「取引通貨の多様化と為替媒介通貨ドル—西ヨーロッパにおけるドルの基軸通貨化—」『経営研究』第 48 巻第 3 号
- 2000年11月 「The foreign exchange market for Japanese Yen and the role of the US dollar」*Business Review*. No. 11
- 2005年 5 月 「購買力平価説、金利平価説とヨーロッパ通貨統合」『経営研究』第 56 巻第 1 号
- 2006年 2 月 「国際通貨システムの変遷と国際通貨」『経営研究』第 56 巻第 4 号

**【書 評】**

1988年 9 月 山本栄治『基軸通貨の交替とドル』有斐閣

**【学会報告】**

1999年10月 「基軸通貨ドルの形成とオーバーストレッチ」1999 年度金融学会秋季大会  
(東北大学)

**【講演等】**

2003年12月 「日本の株式市場の活性化に向けてー日本経済再生の起爆剤としてー」第 19  
回瀬川基金記念シンポジウム

2005年11月 「個人金融資産の形成ー豊かさとはリスクー」大阪市立大学主催第 34 回市民講  
座「本当の豊かさとは何か」

**【所属学会】**

日本金融学会

信用理論研究学会

証券経済学会

国際経済学会